元戦車中隊長の模型部屋 第4回

皆さんは何も買わずにお店を出る時どんな気持ちになりますか?先日、街外れに模型店を見つけたので、店内に入ってプラモを物色しました。でも、今欲しいと思うプラモはなく、お店を出ようとした時に店員と目が合い、さらに客が私しかいないことに気づきました。その時、なぜか何も買わずにお店を出る事にものすご~く罪悪感を感じてしまいまして・・・・で、回れ右して購入したのが、



キットはタミヤさんです。発売されたばかりのキットでいずれ買いたいとは 思っていた物ですが、今回は約3千円の本体に2千円弱のエッチングパーツを 別に購入し、なんだかんだでそれなりの値段に(泣)

M3軽戦車は第2次大戦中に米国で開発された軽戦車です。重厚な装甲を持つ戦車のイメージですが、どこの国でもこのような小型の戦車が開発されていたのは様々な戦場で得られた経験からなのでしょう。米国だけでなく、連合国に供与されて幅広い戦場で使用されていた戦車です。









別売りのエッチングパーツを使用したほかはストレート組みです。無骨なシルエットが私は好きです。あ、どの戦車も好きなんですけどね(笑)





塗装はGSIクレオスのオリーブドラブを使用し、フラットベース(つや消し)を大目に混ぜて光沢を消し、デカールを貼った上につや消しクリアーを吹き付けて過酷な環境で使用されて退色した感じを表現しました。各駐屯地に広報用展示車両がありますが、その表面のイメージを追求しました。









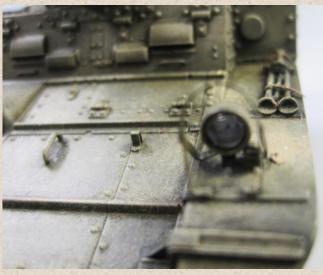
エッチングパーツのバンド取り付けフックを取り付け、さらにエッチングの取り付けバンドをそれに通して土工具を取り付けています。ピンセットで一つ一つ 丁寧に縛着してます。結構根気が必要でした。でもこの精密感がたまりません。





ワイヤーはナイロン製の糸に瞬間接着剤を染みこませて硬化させ、ワイヤーっぽくしてみました。私としてはまだまだ柔らかいかな?と思ってしまいましたが、今後更に研究していきます。





砲塔周りの黄色のマーキングはデカールなのですが、凹凸の部分で密着しなかったりするので軟化剤のマークソフターやデザインカッターで少し切り込みを入れて軟化剤を流し込んだりして塗装感を出してみましたが・・・いかがでしょうか? 錆は控えめに茶色のパステルコンテで上から流れた感を出してみました。ライトの 透明パーツは専用のクリアー接着剤を使用しましたが、汚したらあまりわからない ですね。









いつもの必要以上に眼力が強い戦車長フィギュア(笑)アイラインがまだまだ 難しいです。対空機関銃はつや消し黒に鉛筆芯の粉を擦りつけて金属感を出して ます。

